# NEWS 港湾ニュース

## みなとオアシスもんべつ運営協議会が「土木学会北海道支部地域活動賞」を受賞

紋別市　建設部港湾課

「みなとオアシスもんべつ」では、平成26年の認定以降、「みなとからの地域活性化」を目標に、港湾施設を利用した様々な取り組みを行っています。このたび、こうした活動が認められ、「みなとオアシスもんべつ」運営協議会が「平成30年度土木学会北海道支部地域活動賞」を受賞しました。

みなとオアシスエリアである紋別港ガリヤ地区は、流氷砕氷船ガリンコ号Ⅱをはじめ、氷海展望塔オホーツクタワー、あざらし保護施設オホーツクとっかりセンターなど、流氷が接岸するオホーツクの環境を生かした施設が集積しており、冬の流氷まつりをはじめとしたイベントの会場となるなど、多くの観光客が集まる観光の拠点となっています。「みなとオアシスもんべつ」では、これらの施設を活用したイベントや景観向上への取り組みを企画・実施し、みなとへの集客と周辺施設の利用促進を図っています。

主な取り組みとしては、オホーツクタワーに接続する親水防波堤「クリオネプロムナード」を背後に、市内学校の吹奏楽団による海洋コンサートを例年8月頃に実施しており、同日開催するイベントと連携しながら、「ウォーターフロントフェスティバル」として地域住民が港へ訪れる機会づくりとしています。また冬期には「イルミネーション事業」として、全長517mのクリオネプロムナードやオホーツクタワーをイルミネーションで装飾し、流氷まつり期間中をはじめ、冬の紋別港の景観向上に寄与しています。

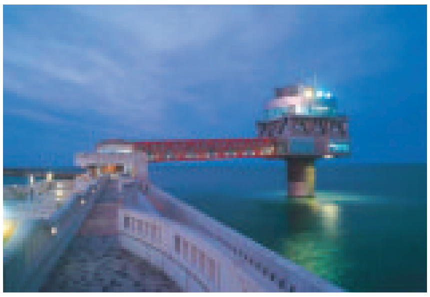
このほか、ガリンコ号Ⅱによる市民を対象にした「みなと見学会」の実施、平成30年8月には海洋公園において「Sea級グルメ全国大会inもんべつ」が開催されるなど、みなとオアシスエリアの施設を活用したイベントが実施され、地域住民や市内外からの観光客等、幅広く紋別港へ足を運んでいただいています。また、2021年の就航を目指してガリンコ号の新造船も予定されており、より一層の観光施設の充実が図られているところです。

このたびの受賞を励みに、今後も港を核とした地域の活性化を目指し、より良い港づくりに取り組んでまいりたいと思います。

流氷砕氷船ガリンコ号Ⅱ

Sea級グルメ全国大会in もんべつ

防波堤イルミネーション


氷海展望塔オホーツクタワー

海洋コンサート

受賞式の様子